

サイバー防犯ボランティア 八戸学院大生に委嘱状

八戸

八戸学院大学学生に対する青森県警察
サイバー防犯ボランティア委嘱状交付式



サイバー防犯ボランティアに委嘱された
八戸学院大の学生ら

青森県警は21日、八戸市の八戸学院大でサイバー防犯ボランティア委嘱状交付式を開き、同大の学生によるボランティア活動がスタートした。

県内の大学への同ボランティア委嘱は、2014年度スタート。小中学生、高校生をサイバー犯罪から守るため、インターネットの利用頻度が高い学生に協力を得ることが目的だ。同大への委嘱は今回が初めて。

委嘱されたのは、ビジネス学部と健康医療学部の1と3

年生16人。式では蛭名均県警保安課長が委嘱状を手渡した。学生を代表して、2年川口航平さん(19)が「安心・安全なサイバー空間の確保に貢献する」と決意表明した。

任期は来年の3月末まで。サイバーパトロールや、県内の小中学校、高校でサイバー犯罪の被害防止教育などの活動をしていく。(瀬戸麻理乃)

【訂正】26日付15頁「NHK」も将棋大会の記事で、会場にいたのは日本将棋連盟八戸支部のスタッフでした。おわびして訂正します。